

## 第2章 計画の目指すもの

---

第1節 八戸市が目指す環境像

第2節 基本目標

第3節 計画が対象とする環境の範囲

## 第1節 八戸市が目指す環境像

当市が将来に向けて目指すべき環境像を次のとおりとします。

### 「人と自然が共生する持続可能な都市 八戸」

私たちが社会経済活動を営む上で欠かすことのできない、エネルギー・天然資源・食料などは、豊かな自然から恩恵を享受することで賄われてきました。

しかし、これらの無秩序で過剰な採取などが繰り返された結果、自然（生態系）はバランスを失い、地球温暖化や生物多様性の喪失など、私たちの生命をも脅かす多くの問題を招きました。

今後は、人と自然との適切な距離感を模索していくことが重要であり、「共生」の実現を通じて、豊かな環境を将来の世代へ引き継いでいくことを目指します。

また、経済活動を通じた環境負荷の低減や、環境分野の技術革新による雇用や事業機会の創出など、環境と経済の好循環を図っていくことで、「人と自然が共生する持続可能な都市 八戸」を目指します。



八戸港

## 第2節 基本目標

第1節の環境像を具現化していくため、次の5つの基本目標を設定します。

### 基本目標① 「自然共生社会づくり」

当市は、海、川、森林など豊かな自然に囲まれ、そこには多種多様な生物が生息しています。人と自然が共生し、豊かな自然と生物多様性が将来へ引き継がれる「自然共生社会」の実現を目指します。

### 基本目標② 「快適環境社会づくり」

身近な自然環境が適正に保全されることは、私たちが安全で潤いのある生活を営む上で重要です。日頃からきれいな空気や静穏な環境に囲まれ、緑や水辺、景観や文化・歴史環境に触れることができる「快適環境社会」の実現を目指します。

### 基本目標③ 「低炭素社会づくり」

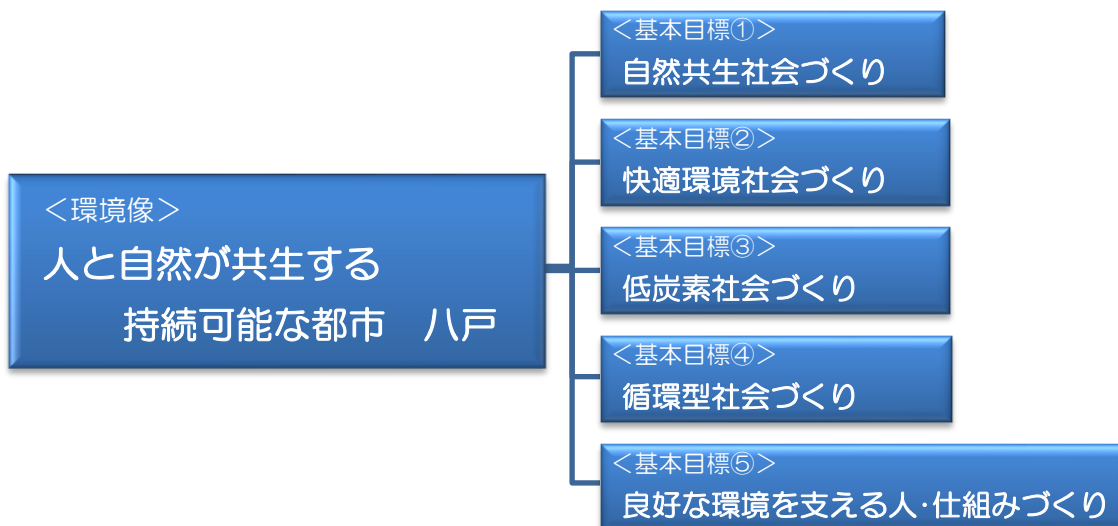
地球温暖化は、世界共通の深刻かつ重要な問題であり、私たち一人ひとりがライフスタイル、ビジネススタイルを見直していく必要があります。省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの利活用、エネルギー効率の高いまちづくりなどにより、温室効果ガスの排出が少ない「低炭素社会」の実現を目指します。

### 基本目標④ 「循環型社会づくり」

大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会経済活動が招いた天然資源の枯渇やエネルギーの大量消費等の問題に対応するため、廃棄物が貴重な資源であることを認識し、それらが適正に循環する社会構造への変換が必要です。3Rの取組みが浸透し、環境負荷の低減が図られるとともに、地域経済の活性化にも繋がる「循環型社会」の実現を目指します。

### 基本目標⑤ 「良好な環境を支える人・仕組みづくり」

良好な環境を将来へ引き継いでいくためには、環境問題の本質を理解し、日常生活において環境に配慮した行動ができる人材とその育成が重要です。そのため、一人ひとりが積極的に自然とふれあい、学ぶことができる機会の創出と環境に配慮した行動に繋がるための仕組みづくりを目指します。



### 第3節 計画が対象とする環境の範囲

本計画の対象とする環境の範囲を基本目標ごとに次のとおりとします。また、計画区域は八戸市全域とします。

- (1) 自然共生社会づくり  
水環境、土壌、地盤、森林、農地、生物多様性など
- (2) 快適環境社会づくり  
大気、悪臭、騒音・振動、公園、景観、文化・歴史環境など
- (3) 低炭素社会づくり  
省エネルギー、再生可能エネルギー、都市基盤など
- (4) 循環型社会づくり  
3R、廃棄物の適正処理、リサイクル関連産業など
- (5) 良好な環境を支える人・仕組みづくり  
環境教育・環境学習、環境関連情報、環境配慮行動など